

第1回 うまぐりの里 地域連携推進会議 会議録

開催日時 : 令和8年1月17日 10時30分～14時15分
開催場所 : 共同生活援助事業所なごみの家 ひなたの家交流スペース
出席者数 : 事業所3名、委員8名（欠席委員0名）

第1部

1. 開会

2. 理事長挨拶

委嘱状交付（令和8年1月1日～令和9年6月30日まで）

3. 参加者自己紹介

4. 議長の指名

管理者の指名により、亀田委員が議長となった

5. 議事

① 地域連携推進会議の説明

地域連携推進会議の内容や役割について、資料に基づき施設長から説明があった。
その説明に対し、以下のとおり質疑応答があった。

- | | |
|-------|---|
| 委 員 | 「行政への報告の必要性はありますか。」 |
| 事業所回答 | 「特にないが公開していきます。委員会報告としてホームページや広報誌でお知らせするにあたり、掲載の同意をいただく。個人情報には十分留意をして報告をします。栃木市の監査があります。国のガイドラインでのみ示されただけなので基準はなく不透明な状態です。」 |
| 委 員 | 「地域連携推進会議の内容の中で、交流する・理解するということで現在何か行っていることはありますか。」 |
| 事業所回答 | 「現在はなくコロナ前は地域の体操教室に参加した経験がありました。また、本部で開催しているゆーあい工房祭りの案内を出してきました。」 |
| 委 員 | 「小・中学校との交流ができると子供たちの学習にもなると思う。特別支援学校の生徒が交流学級として通常クラスに入り活動することで理解が深まる時間を作っています。また、総合的な授業として社会の仕組みや |

- 福祉について学んでいるところです。」
- 委員 「やり方次第ですが、西方の真子小では高齢の方と一緒に花いっぱい運動という活動をしています。社協を通じて行ったり、小学生が歌や笛の発表を行い、交流をしています。」
- 委員 「障害というと、身体障害や盲導犬を連想してしまいます。知的障害の分野やグループホームのことも理解していける様に社協としてもパイプ役としてお手伝いできると思います。」
- 委員 回答 「ボランティアを紹介したりはできます。お互い同等の関係で自治会や小学校とつなげられるといいと思います。」
- 事業所回答 「以前国からの推進で花センターの職員を講師に招き、プランターづくりをやったので共同作業の経験はあります。ものを作って形になるものはみんな嬉しそうでした。」
- 委員 「どこの施設もやっていないと思う。畑作業もよいのではないのでしょうか。」
- 委員 「育成会に関わるのもいいですね。現在しりつぼみになっている状態で集まらない様子です。」
- 事業所から利用者委員に対して・・・小学生や地域の方が来てお花を植えたりするのはどう？」
- 利用者委員 「いいと思う。」
- 利用者委員 「うん、まあ・・・。」
- 委員 「地域のおまつりも儀式的なものでしか行っていないですね。高齢化もあり無理には集まれていないです。蔵井地区ではスマホ教室として 20 人ぐらゐが集まって活動しました。安否確認の意味もありますね。」
- 委員 「いろいろと方法は考えられるので、前向きに検討してもらいたいです。」
- 事業所回答 「ご意見をいただきながら、形にしたいと思います。」

② 事業所の活動内容の紹介

事業所の活動内容について、資料に基づき主任から説明があった。

その説明に対し、以下のとおり質疑応答があった。

- 委員 「自宅へ帰ることはありますか。」
- 事業所回答 「利用者によって週末に帰る方がいます。」
- 委員 「ひなたの家の世話人のローテーションを教えてください。」
- 事業所回答 「朝 2 名と夕に 2 名が入っています。併せて宿直者が 1 名入ります。」
- 委員 「保険には入っていますか。」
- 事業所回答 「任意で JIC という障害に特化した保険に加入しています。保険料はプランによってですが、月約 1 万円ぐらいです。」
- 委員 「利用者の方から何か言葉、要望などは聞こえますか。」
- 事業所回答 「外出が好きで毎週買い物に行くのを楽しみにしています。」
- 委員 「休日に好きなものを食べるとありますが、どのようにしていますか。」

委員 回答 「世話人が一緒に出掛け、買い物をしてきたり外食したりします。1人で出かけられる方は歩きで出かけたり、自転車に乗れる方は自転車で出かけるときもあります。」

委員 「うちの子はツタヤやヤオハンに出かけていますよ。」

事業所回答 「自分で選択できることは楽しみだと思います。」

6. その他

年度で1回の開催になります。次回は令和8年度7月の土曜日で予定します。
7月の11日、18日、25日で予定してください。

第2部

見学会：2グループに分かれそれぞれなごみの家、ひなたの家を見学後意見交換を行った。

なごみの家

委員 「平日はどのように過ごしていますか。」

事業所 「6名全員がゆーあい工房に通って、日中活動をしています。」

委員 「休日はどのように過ごしていますか。」

事業所 「世話人と一緒に昼食や日用品などの買い物に行ったり、掃除などをしてGHで過ごすことが多いです。利用者によっては自分で自由に出かける方もいます。」

委員 「みなさん地域の中で暮らすことができている良いことですね。」

ひなたの家

委員 「生活リズムは決まっていますか。」

事業所 「食事やお風呂の順番など、ある程度の時間やルールを決めて生活しています。しかし、家庭的な雰囲気を大切にしていますので、みんなで相談しながら臨機応変に生活しています。」

委員 「親がいない方もいるのですか。」

事業所 「1人利用している方がいます。保佐人がついて生活に関わってくれています。」

委員 「皆さん笑顔で明るい雰囲気が伝わります。快適で幸せですね。」